

入院生活アンケートに対するご報告

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

掲示している内容は、頂いたご意見から一部抜粋しております。

お褒めの言葉

静かによく眠ることが出来ました。ほんとうにお世話いただきありがとうございました。

食事の味付けが薄味に慣れ、どういう味にしたほうがよいのか、ちょっと勉強になりました。

3ヶ月間お世話になりました。この間、先生はじめ、看護師さん、介護士さん、清掃の方々、そして毎日休むことなくリハビリをしてくださったスタッフの方々、食事に関するの方々、ソーシャルワーカーさんには感謝の気持ちでいっぱいです。病棟の雰囲気明るく、皆さんの楽しそうな笑い声が聞こえてくると、私も心が明るくなっていました。私の自宅で過ごしたいとの願望を皆さんがかなえるべく、毎日お世話をしてくださったおかげで酸素が不要になり、車イスから歩行となり退院となりました。いただいた命、残りの人生を皆さんのように人の喜ばれる行いをし、感謝の日々を過して行きたいと思っています。

大変お世話になりました。先生や看護師さんリハビリスタッフのみなさんが大変親身になり接して下さったおかげで何不自由のない入院生活を送ることができました。本当にありがとうございました。

看護師の方、介護士の方みなさまとても優しくしていただき有り難うございました。3ヶ月間リハビリに励む事が出来、本当に有り難うございます。

ご意見・ご要望

回答・対策

面会の制限が厳しかった。高齢者のため、認知機能の確保のためにも面会の機会を増やしていただきたい。

入院中にご不便をお掛けし申し訳ありませんでした。2024年12月23日より、これまで原則週2回までであった回数制限を撤廃し、面会の機会を増やすことにしました。なお、感染対策のため面会時間や面会人数には引き続き制限を設けております。ご理解の程よろしくお願い致します。

5ヶ月間の入院にあたり献身的なスタッフが多い中、一部の看護/補助による精神的な苦痛を受けた事。本来ケガで入院し不安な日々を送る中、患者に寄り添うべき立場が精神的な不安を煽るような言動は最低である。是非このアンケートのフィードバックを期待し、どうぞホームページでも掲載され患者へ寄り添う聖マリアヘルスケアセンターであり続けて欲しいと思います。アンケートが絵に描いたモチにならないよう切に願います。

患者さまが職員の言動やふるまいで不安な気持ちを抱かれてしまったとのこと、大変申し訳ございません。非常に心苦しく、深くお詫び申し上げます。医療者は患者さまの不安な気持ちに寄り添うべきことのご指摘は仰るとおりです。職員の一部のご指摘ではありませんでしたが、このご意見を機に、改めて全体への注意喚起と指導を徹底いたします。今後も患者さまが不安少なく療養に専念できる環境作りに励みたいと考えております。貴重なご意見ありがとうございました。

快適で安心して入院生活が送れるよう、今後とも皆様の声に耳を傾け真摯な対応に努めてまいります。



聖マリアヘルスケアセンター
患者サービス委員会

作成日：令和 7年 1月 17日